

研究課題名	黄色ブドウ球菌菌血症における臨床的・微生物学的特徴、予後、診療の質指標の後ろ向き検討
倫理委員会承認番号	267
当院の研究責任者（所属）	佐藤 恒太（脳神経内科）
他の研究機関および各施設の 研究責任者	岡山大学学術研究院医歯薬学域 大塚文男 萩谷英大 岡山大学病院 福島伸乃介 岡山市立市民病院 岸田雅之 国立病院機構 岡山医療センター 感染症内科 齋藤崇 岡山協立病院 杉村悟 岡山旭東病院 吉岡純二 まび記念病院 村上和春 まるがめ医療センター 松本祐蔵 笠岡市民病院 小栗栖和郎 新見中央病院 治徳通博 津山中央病院 林同輔 倉敷成人病センター 吉永泰彦 玉野市民病院 山原茂裕
本研究の目的	黄色ブドウ球菌菌血症は、早期診断、適切な治療がなされない場合は予後も不良であり、全身のマネジメントが重要な疾患である。この疾患の診療内容を担保ため、診療の質（Quality Indicator: QI）を調査し、今後の診断・治療の向上に役立てること。
調査データの該当期間	2022年1月から2022年12月
研究の方法（対象者）	当院にて血液培養検査を受けられた方で、黄色ブドウ球菌菌血症と診断された18歳以上の患者。
研究の方法（使用する情報）	年齢、性別、既往歴、黄色ブドウ球菌菌血症の発症状況、微生物検査情報、治療内容、転帰 など
試料／情報の他機関への提供	岡山大学病院 総合内科・総合診療科 福島伸乃介
個人情報の取り扱い	個人が特定できる情報を削除し、上記提供先にエクセルファイルで提出。
本研究の資金源（利益相反）	なし
備考	